

新型コロナウイルスを防ぐには

新型コロナウイルス感染症とは、発熱やのどの痛み、咳が長引くこと（1週間前後）が多く、強いだるさ（倦怠感）を訴える方が多いことが特徴です。

症状がある方は、「帰国者・接触者相談センター」に電話で相談しましょう。（感染の不安から適切な相談をせずに医療機関を受診することは避けていただくようお願いいたします。）

症状がある場合

「帰国者・接触者相談センター」

○県中保健所（県中保健福祉事務所） ※9時～17時 平日のみ
電話番号 0248-75-7827

一般的な相談

「一般的なお問い合わせ」

○厚生労働省相談窓口 ※9時～21時 土日・祝日も実施

電話番号 0120-565653（フリーダイヤル）

○福島県相談専用ダイヤル ※8時30分～21時 平日のみ

電話番号 024-521-7871

○県中保健所（県中保健福祉事務所） ※8時30分～17時15分 平日のみ

電話番号 医療薬事課 0248-75-7818

センターでご相談の結果、感染の疑いがある場合には、専門の「帰国者・接触者外来」をご紹介します。マスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて受診してください。

～次の症状がある方はご注意ください～

- ①風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続いている（解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます）
- ②強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある

※重症化しやすい高齢者や基礎疾患のある方に加えて、念のため妊婦さんは、こうした状態が2日程度続く場合は相談しましょう。

※症状がこの基準に満たない場合には、かかりつけ医や近隣の医療機関にご相談ください。



新型コロナウイルスは、感染しても軽症であったり、治る例も多いですが、季節性インフルエンザと比べ、重症化するリスクが高いと考えられます。重症化すると肺炎となり、死亡例も確認されているので注意しましょう！

特にご高齢の方や基礎疾患のある方は重症化しやすい可能性が考えられます。新型コロナウイルスは飛沫感染と接触感染により感染します。空気感染は起きていないと考えられていますが、閉鎖した空間・近距離での多人数の会話等には注意が必要です！

◆「飛沫感染」：感染者のくしゃみや咳、つばなどの飛沫により口や鼻などから吸い込んで感染

◆「接触感染」：ウイルスに触れた手で口や鼻を触ることで粘膜から感染

令和2年2月25日時点の情報をお知らせしています。今後の情勢変化により、随時変更される場合があります。最新情報は、厚生労働省、福島県ホームページをご確認ください。【石川町】

感染予防のためにできること



- 石鹸やアルコール消毒液などによる手洗い
- 正しいマスクの着用を含む咳エチケット
- ご高齢の方や持病がある方は、できるだけ人込みの多い場所を避ける

※発熱等の風邪の症状が見られるときは、学校や会社を休んでください。

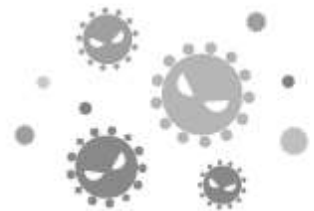
※発熱等の風邪症状が見られたら、毎日、体温を測定して記録してください。

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

■ほかの人にうつさないために

くしゃみや咳が出るときは、飛沫にウイルスを含んでいるかもしれません。次のような咳エチケットを心がけましょう。

- ・マスクを着用します。
- ・ティッシュなどで鼻と口を覆います。
- ・とっさの時は袖や上着の内側で覆います。
- ・周囲の人からなるべく離れます。



3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやろう



マスクを着用する
(口・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで
口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う



何もせずに
咳やくしゃみをする

咳やくしゃみを
手でおさえる

正しいマスクの着用



① 鼻と口の両方を
確実に覆う

② ゴムひもを
耳にかける

③ 隙間がないよう
鼻まで覆う

首相官邸
Prime Minister's Office of Japan

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

厚労省

検索



※情報は、随時更新されますので、詳しくは福島県のホームページでご確認ください。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21045c/kansenkangokango68.html>

2020. 2. 27 石川町